

中学歴史 江戸時代 1 (解答)

要点チェック (レベル 1)

江戸幕府の支配のしくみ

豊臣秀吉の死後、(1 徳川家康)は関ヶ原の戦いに勝利し、1603年に征夷大将軍に任命され、(2 江戸幕府)を開いた。江戸時代の支配のしくみは、将軍を中心とする幕府と、大名が治める藩が全国の土地と民衆を支配する(3 幕藩体制)で成り立っていた。

幕府は(4 武家諸法度)を定めて、大名を厳しく統制した。3代将軍徳川家光は、大名に江戸と領地を往復させる(5 参勤交代)を制度化した。

大名の区別

A 親藩大名	徳川家の一族。
B 譜代大名	古くから徳川家の家臣。
C 外様大名	関ヶ原の戦いのころから徳川家に従った大名。江戸から遠いところに配置。

幕府は朝廷(天皇と公家)の行動を制限する法を定め、(6 京都所司代)を京都に置いて監視した。

身分制度

(7 武士)：名字を名乗り、刀を差して出歩く。城下町に住んで政治・軍事を行う。

(8 百姓)：当時の日本人の85%。土地をもつ本百姓と土地を持たない水呑百姓に分かれる。年貢を負担する。

(9 町人)：職人と商人。城下町に住み、家持と借家人に分かれる。

百姓の生活

年貢：収穫高の40~50%を負担。田畑永代売買禁止令など生活の規制があった。

(10 村役人)：名主(庄屋)・組頭・百姓代らが村の自治を行い、年貢の徴収をした。

(11 五人組)：年貢納入や犯罪防止で連帯責任を負うしくみ。

えた・ひにん：8や9とは別に、職業・居住地など厳しい差別をうけた。

身分の上下：社会の安定とともに(12 朱子学)が広がり、男尊女卑などの考えが人々に根付く。

キリスト教禁止と鎖国

江戸幕府は、キリスト教が幕府の支配を妨げると考え、キリスト教を禁止した。さらに幕府は貿易と外交を統制し、これにより(13 鎖国)の体制が完成した。

江戸時代初め、幕府は(14 朱印状)を大名や豪商に発行して、(15 朱印船貿易)がさかんに行われた。多くの日本人が東南アジアに移住し、各地に(16 日本町)ができた。

しかし貿易のために増加したキリスト教徒が、幕府の支配を妨げると考え、幕府は禁教令を出した。1637年領主による厳しい禁教と重税などの迫害にたえかねたキリスト教徒たちが天草四郎を大将に(17

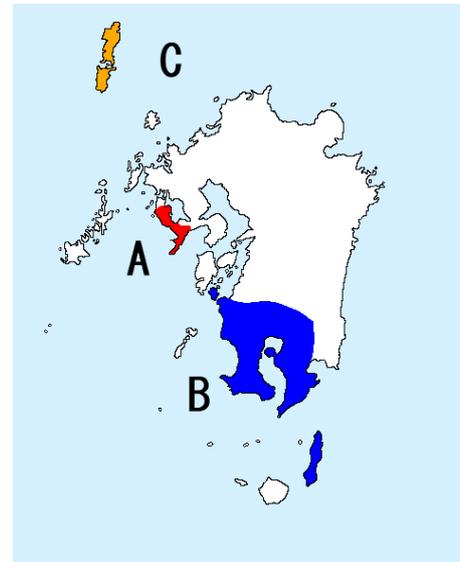
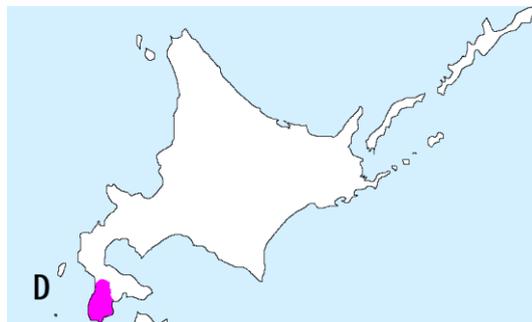
島原・天草一揆)を起こした。その後、幕府はキリスト教の取締りを徹底し、宗門改(しゅうもんあらため)ですべての人を寺に登録させ、(18 絵踏)でキリスト教徒をあぶりだした。

1939 年幕府はポルトガル船の来航を禁止し、1641 年オランダ商館を長崎の(19 出島)に移した。長崎で貿易を許されたのは、キリスト教を広めない(20 オランダ)と(21 中国)だけになった。

鎖国下の貿易の窓口 (地図の A~D と同じ)

A 長崎	オランダ・中国
B 薩摩藩	琉球王国
C 対馬藩	朝鮮
D 松前藩	アイヌ民族

A は幕府が支配



五人組、出島、武家諸法度、鎖国、中国、島原・天草一揆、幕藩体制、京都所司代、町人、朱子学、絵踏 (えぶみ)、徳川家康、武士、村役人、朱印状、日本町、江戸幕府、オランダ、参勤交代、譜代大名、外様大名、薩摩藩、対馬藩、松前藩、朱印船貿易、長崎、親藩大名、百姓

産業の発達と都市の繁栄

江戸時代になり、幕府と藩は大規模な(1 新田開発)をすすめた。また、江戸・大阪・京都の(2 三都)が発展し、江戸を起点とする(3 五街道)が整備され、海運も発達した。

・農業の発達

千歯こき、備中ぐわなど新しい農具が登場し、菜種・綿花などの(4 商品作物)を栽培し、都市で売って(5 貨幣)を得た。(米だけが収入でなくなった)

・都市の繁栄

大阪は(6 天下の台所)と呼ばれ、諸藩の(7 蔵屋敷)が置かれ、年貢米や特産物が集まった。都市では、商人が(8 株仲間)という同業者組合をつくり、幕府や藩に税を納める代わりに、営業権を独占できた。室町時代、公家や寺社に保護された座と間違えないように！

・交通の発達

江戸と京都を結ぶ陸路を(9 東海道)という。新幹線・国道1号線などのルートの始まり。

元禄文化

17 世紀末から 18 世紀初め（5 代将軍徳川綱吉のころ）、上方（京都や大阪）で、経済力をつけた町人を担い手として栄えた文化を、当時の元号からとって（10 元禄文化）という。

・文芸

11 井原西鶴	浮世草子とよばれる小説で町人の生活や考えを描写
12 近松門左衛門	人形浄瑠璃や歌舞伎の脚本を書いた。
13 松尾芭蕉	俳諧（俳句）を芸術に高め、江戸から東北地方を旅した「おくのほそ道」。

・絵画

14 尾形光琳	装飾画を描く。琳派という画風を始めた。
15 菱川師宣	浮世絵の祖といわれ、町人の暮らしを描いた。

東海道、元禄文化、貨幣、株仲間、新田開発、菱川師宣、井原西鶴、松尾芭蕉、尾形光琳、三都、商品作物、蔵屋敷、近松門左衛門、五街道、天下の台所、

確認問題

- | | |
|--|--|
| <p>問1 関ヶ原の戦いに勝利し、朝廷から征夷大將軍に任命された人物はだれか。</p> <p>問2 江戸時代、將軍を中心とする幕府と大名が治める藩が、全国の土地と民衆を支配するしくみを何というか。</p> <p>問3 大名に1年おきに領地と江戸を往復させた制度を何というか。</p> <p>問4 3を制度化した3代將軍はだれか。</p> <p>問5 江戸幕府が大名と厳しく統制するために定めたきまりを何というか。</p> <p>問6 古くからの徳川家の家臣である大名を何というか。</p> <p>問7 関ヶ原の戦いのころから徳川家に従い、江戸から遠いところに配置された大名を何というか。</p> <p>問8 大名の領地とそれを支配する組織を何というか。</p> <p>問9 江戸時代初め、渡航を許可する朱印状を発行された大名や豪商の船が東南アジア各地に出かけて行った貿易を何というか。</p> <p>問10 1637年九州で厳しい禁教と重税に苦しむ人々が起こした一揆を何というか。</p> <p>問11 江戸幕府による、禁教・貿易統制・外交独占を政策とする体制を何というか。</p> <p>問12 1639年幕府が来航を禁止したのは、どこの国の船か。</p> <p>問13 ヨーロッパの国でキリスト教の布教を行わず、日本と貿易だけ行った国はどこか。</p> | <p>1 徳川家康</p> <p>2 幕藩体制</p> <p>3 参勤交代</p> <p>4 徳川家光</p> <p>5 武家諸法度</p> <p>6 譜代大名</p> <p>7 外様大名</p> <p>8 藩</p> <p>9 朱印船貿易</p> <p>10 島原・天草一揆</p> <p>11 鎖国</p> <p>12 ポルトガル</p> <p>13 オランダ</p> |
|--|--|

- 問 14 13 と中国が貿易を許可された場所は、日本のどこか。
問 15 幕府はかくれているキリスト教の信者を発見するために何を行ったか。
問 16 対馬藩が幕府から貿易の独占を認められた国はどこか。

- 14 長崎
15 絵踏
16 朝鮮

確認問題

- 問 1 江戸時代に登場した新しい農具で、脱穀（稲をもみと藁にわける）に用いた道具を何というか。
問 2 江戸時代、都市の商人たちが同業者ごとにつくった組合を何というか。
問 3 江戸時代、農村では生産力に余裕ができると、貨幣を得るため米以外に栽培した作物を何というか。
問 4 幕府が整備した五街道のうち、太平洋側と通って江戸と京都を結んだ街道を何というか。
問 5 17 世紀後半、江戸、京都、大阪がめざましく発展し、あわせて何とよばれたか。
問 6 大阪に諸藩が年貢米や特産物を売りさばくために何を置いたか。
問 7 17 世紀末から 18 世紀初め、京都や大阪を中心とする上方で町人を担い手とする文化を何というか。
問 8 人形浄瑠璃や歌舞伎の脚本ですぐれた作品を残したのは、だれか。
問 9 旅をしながら句を詠み、俳諧（俳句）を芸術に高めたのは、だれか。
問 10 浮世草子という小説で、町人の生活や考えを描いたのは、だれか。
問 11 「見返り美人図」を描き、浮世絵の祖とよばれるのは、だれか。

- 1 千歯こぎ
2 株仲間
3 商品作物
4 東海道
5 三都
6 蔵屋敷
7 元禄文化
8 近松門左衛門
9 松尾芭蕉
10 井原西鶴
11 菱川師宣

元禄文化は 17 世紀末～18 世紀初め、化成文化は 19 世紀前半

要点チェック（レベル 2）

江戸幕府の成立と仕組み

①江戸幕府の成立と豊臣氏の滅亡

- 1600 年（1 関ヶ原の戦い）で徳川家康が石田三成らを破る
1603 年徳川家康が（2 征夷大將軍）に任命されて、江戸幕府が成立。
1615 年大阪の陣で豊臣氏を滅ぼす。

②幕藩体制

- ・（3 幕領（天領））：幕府が直接支配した土地。重要都市や鉱山を含む。
- ・幕府の政治：（4 老中）や三奉行（寺社・勘定・町）などは譜代大名と旗本から就任將軍の直接の家臣のうち、1 万石以上が大名、將軍に会えたのが旗本、その他が御家人。
- ・（5 藩）：大名の領地または支配の仕組みのこと。

③大名の統制

徳川家の一門の（6 親藩大名）や古くからの家臣の（7 譜代大名）は、幕府の重要な土地。

- (8 外様大名) は東北・九州など江戸から遠い地方に配置。
(9 武家諸法度) : 幕府が大名を統制する法。違反した大名は、取りつぶされた。
将軍の代わりごとに出された。
(10 参勤交代) : 大名は江戸と領地を1年交代で往復。妻と子は江戸に居住させられた。
3代将軍(11 徳川家光) が制度化した。

④朝廷の統制

禁中並公家諸法度：天皇や公家の行動を規制。

- (12 京都所司代) : 江戸幕府が朝廷や西国大名を監視した。*鎌倉時代の六波羅探題と間違えないように！

さまざまな身分とくらし

①身分制度

- (13 武士) : 名字・帯刀の権利を持つ。城下町に住み、政治・軍事を行う。
(13 百姓) : 総人口の85%。主に農村に住み、年貢を納める。
(14 町人) : 城下町に住む職人や商人。地主・家持と借家人に分かれる。

②百姓の生活

年貢：収穫高の40~50%を負担。自給自足で、山野・用水を共同で管理。

- (15 村役人) : 村長の名主(庄屋)、五人組の代表の組頭、百姓代が本百姓から選挙で選ばれ、
村の自治を行い、年貢の徴収を行う。
(16 五人組) : 年貢納入や犯罪防止の連帯責任。

③身分差別が生まれる

身分の上下：(17 朱子学) の影響で、男尊女卑の考えも広まる。

えた・ひにん：百姓・町人とは別に、職業や居住地が制限され差別を受けた人々。

貿易の振興から鎖国へ

①家康の政策：近隣諸国と友好、貿易を振興

- (18 朱印船貿易) : 大商人に海外渡航の許可証を与え、貿易を奨励。
(19 日本町) : 東南アジア各地に日本人が集まった町ができる。

②禁教から鎖国へ

1612年禁教令で宣教師を国外追放。キリスト教徒の迫害が始まる

1637年(20 島原・天草一揆) : 天草四郎らキリスト教徒が幕府に抵抗。

禁教の徹底：キリスト教徒をあぶりだすため(21 絵踏)、すべての人を寺に登録させる宗門改

1639年(22 ポルトガル) 船の来航を禁止。

1635年日本人の海外渡航・帰国を禁止

1641年オランダ商館を長崎の出島に移す。オランダ商館長は毎年将軍に世界の情勢を記したオランダ風説書(ふうせつがき)を提出。

オランダだけが貿易できた理由：オランダはスペインから独立したプロテスタントの国で、カトリックのスペインやポルトガルとは対立していた。オランダはキリスト教の布教をしなかった。

③鎖国下の外交関係

- (23 長崎) : オランダ・中国 (明のち清) と貿易
(24 対馬藩) : 朝鮮との外交・貿易の窓口。将軍の代替わりに (25 朝鮮通信使) が派遣された
(26 薩摩藩) : 琉球王国は中国と朝貢貿易をしたが、26 に征服されて、中国と日本の両方に服従
(27 松前藩) : アイヌ民族と交易。シャクシャインの反乱の後、アイヌ民族への支配が強化。

外様大名、京都所司代、武士、朱子学、関ヶ原の戦い、老中、藩、朝鮮通信使、町人、五人組、朱印船貿易、武家諸法度、譜代大名、長崎、百姓、幕領、親藩大名、村役人、対馬藩、ポルトガル、徳川家光、日本町、薩摩藩、絵踏、征夷大將軍、参勤交代、松前藩、

産業の発達

①農業の進歩 : (1 新田開発) による耕地増加。幕府や藩の奨励。用水路の整備、干拓、開墾。
技術の進歩 : 備中ぐわ・千歯こきなど農具の発達。干鰯 (ほしか) ・油かすなどお金で買う肥料。
「農業全書」など、農業方法を記した本も出される。

(2 商品作物) の栽培 : 木綿、麻、藍、紅花、菜種、養蚕など

②諸産業の発達

- ・ 鉱業 : 採掘や精錬技術が進歩。佐渡の金山、石見の銀山、別子の銅山。
貨幣に金貨 (小判)、銀貨 (丁銀・豆板銀)、銅貨 (寛永通宝)
- ・ 漁業 : 九十九里浜のイワシ漁、土佐のカツオ漁、蝦夷地のコンブとニシン
17 世紀末から俵物 (アワビ・フカヒレなど) を長崎から中国に輸出
- ・ 林業 : 木曾 (ひのき)、秋田 (すぎ)
- ・ 地域の特産品 : 日本各地の伝統工芸が発達したのが江戸中期から

③交通の発達

(3 五街道) : 江戸を起点に幕府の重要な土地を結ぶ陸路。参勤交代でも利用。
海路の発達 : 大阪－江戸間の他、蝦夷地から大阪までの西廻り航路、東北から江戸までの東廻り航路

④三都の発達

- (4 江戸) : 将軍のおひざ元。各藩の江戸屋敷、18 世紀初め 100 万人を超える
大阪 : 経済の中心地。諸藩の (5 蔵屋敷) があり、各地の年貢米や特産物が集まる
(6 京都) : 文化の中心地。江戸時代は西陣織など伝統工芸が発達。
(7 株仲間) : 幕府や藩の公認で、特定の分野を独占した商人の同業者組合

* 室町時代の座と間違えないように !

両替商 : 大阪では銀、江戸では金を使用したため。金銀の交換や大名への貸付をした。

元禄文化 場所 (8 上方)、担い手 (9 町人)

10 井原西鶴	浮世草子という小説で、町人の生活や考えを描く。
11 松尾芭蕉	「おくのほそ道」など、俳諧を芸術に高める。
12 近松門左衛門	人形浄瑠璃や歌舞伎の脚本を書く。

13 尾形光琳	障壁画を残す。
14 菱川師宣	浮世絵の祖。町人の生活を描く。

菱川師宣、五街道、商品作物、江戸、株仲間、蔵屋敷、町人、上方（京都・大阪）、井原西鶴、京都、新田開発、尾形光琳、松尾芭蕉、近松門左衛門、

確認問題（レベル3）

次の年表について、①～⑨に当てはまる語を答えなさい。

時代	世紀	できごと	中国
① 江戸 時代	17	1600 (2 徳川家康) が関ヶ原の戦いで豊臣方を破る	明
		1603 ②が征夷大將軍となり、江戸幕府を開く 朱印船貿易がさかんになる	
1609(3 薩摩)藩が琉球王国を征服する	(9 清)		
1612 幕府はキリスト教を禁止する禁教令を幕府領に出す			
1615 大坂の陣で豊臣氏が滅ぶ 幕府は大名を統制するため(4 武家諸法度)を出す			
1624 スペイン船の来航を禁止する			
1635 日本人の海外渡航を禁止する			
1637 天草四郎を大將に(5 島原・天草一揆)が起こる			
1639(6 ポルトガル)船の来航を禁止する			
1641 オランダ商館を長崎の(7 出島)に移す			
1669 蝦夷地で(8 シャクシャイン)を指導者とする戦いが起こる			

- 問1 徳川家康が征夷大將軍に任じられて開いた幕府を何というか。
- 問2 幕府が直接支配する直轄地を何というか。
- 問3 將軍と大名が主従関係を結び、幕府と藩が全国の土地と人々を支配するしくみを何というか。
- 問4 大名を1年おきに江戸と領地に住ませ、その間を往復させたことを何というか。
- 問5 幕府から与えられた、日本の商船であることを証明する、渡航許可証をもつ船によって行われた貿易を何というか。
- 問6 5が活発になったことで、東南アジア各地に日本人が移り住んでつくられた町を何というか。
- 問7 禁教や貿易統制、海外渡航の禁止などが行われた国の状態を漢字2字で何というか。
- 問8 漢民族の明に変わって、中国を支配した北方の女真族の国を何というか。8 清

- 1 江戸幕府
- 2 幕領（天領）
- 3 幕藩体制
- 4 参勤交代
- 5 朱印船貿易
- 6 日本町
- 7 鎖国

- | | | |
|------|---|-----------|
| 問 9 | 名字を名乗り、刀を差すことなどの特権が与えられた身分を何と
いうか。 | 9 武士 |
| 問 10 | 農地を持ち年貢を納める百姓を何と
いうか。 | 10 本百姓 |
| 問 11 | 百姓の犯罪を防止し、年貢の納入に連帯責任を負わせたしくみを
何と
いうか。 | 11 五人組 |
| 問 12 | 年貢米や特産物を売りさばくために、各地の大名が大阪に置いた
倉庫を何と
いうか。 | 12 蔵屋敷 |
| 問 13 | 幕府や藩に営業税を納めるかわりに、独占的な営業を行うことを
許可された商工業者の同業者組合を何と
いうか。 | 13 株仲間 |
| 問 14 | 当時の世相や、町人・武士の暮らしをありのままに描いた井原西鶴
の文芸形式を何と
いうか。 | 14 浮世草子 |
| 問 15 | 男女の悲恋などを題材に人形浄瑠璃の脚本を書いた人物はだれか。 | 15 近松門左衛門 |
| 問 16 | 各地を旅して『おくのほそ道』を著し、俳諧を芸術として高めた
人物はだれか。 | 16 松尾芭蕉 |